

第二期武蔵野市観光推進計画 第1回策定委員会 議事要録

【会議概要】

日 時	平成 28 年 7 月 15 日（金）午後 2 時～ 4 時
場 所	武蔵野市役所 西棟 4 階 412 会議室
出席委員	小田宏信、林聖子、稲垣英夫、花俣延博、麻生日佐子、井柳南進、中村光治郎、福島和仁、松倉晋、八尾明美、武藤毅、小島祐一
事務局	生活経済課 西川課長、平塚課長補佐、大久保主任 パシフィックコンサルタンツ株式会社 4名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長、副委員長選出 (2) 策定委員会の運営について (3) 第二期観光推進計画の目的及びスケジュールについて (4) 武蔵野市の観光の現状及び課題について（意見交換） (5) その他 6 閉会
配布資料	資料 1 第二期武蔵野市観光推進計画策定委員会委員名簿 資料 2 第二期武蔵野市観光推進計画策定委員会設置要綱 資料 3 第二期武蔵野市観光推進計画策定委員会の運営案について 資料 4 第二期武蔵野市観光推進計画策定の目的及びスケジュール 資料 5 第二期武蔵野市観光推進計画策定の背景

【議事】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ

市 長	<p>平成 19 年に武蔵野市観光推進計画を策定した。それまでも様々な事業を行っていたが、観光というくくりで統一されておらず、どうやって市民やお客さんに楽しんでもらうのかという共通の理念がなかったという反省のもとに 10 年前にこの計画を策定した。またその後観光機構という拠点を設けて様々な観光に関する情報発信や事業の展開を進めている。</p> <p>この 10 年で状況はかなり変わっている。吉祥寺ではかなり外国人が増えている。数年前までは中国、台湾の方の爆買ツアーもあったが、最近ではそれに加えて欧米の方も来られるようになった。</p> <p>吉祥寺も武蔵野もいろいろな面で評価を頂いており、吉祥寺は住みたい街として東京ウォーカーという雑誌でナンバー 1 を維持している。不動産会社の調査でナンバー 2 に落ちたというのがニュースになっていたが、その変動がどうい影響があつてのことなのか冷静に分析しなければならない。武蔵野市全体は、数年前にはサステイナブルシティという形で全国 1 位の評価を頂いたり、今年の日経ビジネスで活力ある都市でも全国 1 位という評価を頂いてい</p>
-----	---

る。様々な施策の評価を頂いたものと思っているが、それに安住することなく、市民の皆様方により一層この地域を愛して誇りに思っ頂き、また様々な方に訪れて頂いて、歓迎してもてなしていただけるような取組みを今後も行っていきたい。

4年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。ますます多くの内外からのお客さんに来ていただけたらと思うが、武蔵野市ではルーマニア国のホストタウンという認定を受けている。今後はルーマニアを対象とする、スポーツ及び様々な文化の交流を進めていく中で、外国との交流も拡充していきたい。

私たちの街は様々な資源がすでにある。どこかにテーマパークや観光名所を作るということではなく、武蔵野の観光は都市観光だと思う。生の都市活動、生活環境を市民に楽しんでもらい、来街者に来て頂いて交流しながら楽しんでいただくのが都市観光だ。改めて市民の皆さんには武蔵野の魅力を発見し、さらに磨いていただけるようなお力添えを頂ければありがたいと思う。

観光計画二期目ということでいろいろな視点から武蔵野の魅力を発見しPRできるような観光計画を立案し、共に魅力いっぱいのまちづくりを進めていきたい。

4 自己紹介

各委員及び事務局による自己紹介

〔市長退席〕

5 議事

(1) 委員長、副委員長選出

- ・ 委員の互選により、委員長に小田宏信委員、副委員長に林聖子委員を選任した。

(2) 策定委員会の運営について

- ・ 策定委員会は原則として公開する。ただし委員の合意により一部または全部を非公開とすることができる。
- ・ 傍聴の方法「傍聴要領（案）」を確認した。
- ・ 会議要録を作成し、市のホームページに掲載する。公開においては発言者の名前はふせる。
- ・ 会議は原則として2時間とする。ただし委員の合意があれば延長することができる。
- ・ 次回からの会議日程は調整して決定する。

(3) 第二期観光推進計画の目的及びスケジュールについて

- ・ 計画策定の目的・計画の期間、策定作業スケジュールを確認した。

(4) 武蔵野市の観光の現状及び課題について（意見交換）

事務局	～資料5説明～
委員長	今背景について説明いただいた。武蔵野市の観光の現状・課題に関して皆様のお立場で感じていることなど、ご意見を頂きたい。

委 員	<p>産業振興計画の中には工業も農業も振興していくということが載っている。現行の観光振興計画の策定委員会の際には農業関係の委員も入っていたが、今回は入っていない。その理由をお聞きしたい。</p> <p>また第二期武蔵野市観光推進計画策定の背景について、最初の目的には「地域の活性化」、「地域経済の振興」、「市民生活の質の向上」があげられていたが、これが入っていないのはどういう理由か教えて頂きたい。</p>
事 務 局	<p>農業については昨年「農業振興基本計画」を策定しており、都市農業をどのように推進していくかを書いている。果樹園のもぎ採りなど観光農園のようにやっているところもあるが、規模が縮小してきている現状があり、今回は農業者の方は委員にお願いしていない。ただ事務局の生活経済課が農業委員会の事務局も兼ねているので、必要に応じて農業に関する部分についてはこちらからも提案させて頂く。</p> <p>また「地域の活性化」、「地域経済の振興」、「市民生活の質の向上」については、現行の観光振興計画の位置づけの中の観光推進をする意義として書いてある。この意義はこれから不変のものかどうか議論していただきたい。今回の資料には現行観光振興計画の目標を載せているが、この意義を否定するものではない。</p>
委 員	<p>地域の活性化や地域経済の振興が主だったものだと思う。これがスタートだった。これは明文化できるのかどうか。</p>
事 務 局	<p>それが「意義」という書き方になるかどうかかわからないが、観光推進を通して「地域の活性化」、「地域経済の振興」、「市民生活の質の向上」は当然目指すべきだと思うので、皆さんの合意の中でどういった形で載せていくかを決めて頂きたい。こちらで案は作成する。</p>
委 員	<p>案の中に載せていただきたい。</p>
委 員 長	<p>暗黙の中の位置づけであったと思うが、より明確な形で示すという方向でよろしいか。</p>
委 員	<p>第二次アクションプランには、当初の計画の「地域の活性化」、「地域経済の振興」、「市民生活の質の向上」が書かれていない。年月が経つに連れて単なるバラマキのようになっていて、これをばらまくことによってどのようなリターンが来るかということが分からなくなっている。毎回明文化しないと単なる予算の消費だけになってしまうのではないか。</p>
委 員	<p>手段と目的が混在している。目的のためにどういう手段を使って我々の目標を達成していくかという道筋があいまいになっている。第二次アクションプランではいろいろ羅列はされているが、結局目的達成のために手段がどれくらい実行できて、その結果目的にどのくらい歩み寄っているのかが年度ごとに評価できるようにした方がいい。例えば街の売り上げがいくら増えたか、どのくらい人が増えたかなど目的達成が測れるしくみを工夫するといい。</p> <p>資料5の目標は「市民、来街者が共に楽しみ、交歓できるまち」というのは本当の目標だ。そのために次の「訪れる人それぞれが価値ある時間を過ごせるまち」とあるが、価値ある時間を過ごせるということはその価値に見合った対価を支払ってくれるということになる。対価に見合う価値を提供しなければならない。次の「安全・安心を実感できるまち」ということは自転車散歩が歩道で飛ばして走っているのは困るし、不潔な環境では困る。そういう追い込み方が分かるようにするとよい。</p>
委 員	<p>観光機構でやっている仕事は、地域活性化以外のなにものでもない。市の補助</p>

	<p>金をもらっているいろいろなイベントをやり、各商店街にいかにお金を落としてもらうかを考えている。この3つはぼやかさないで、明文化した方がいいと思う。</p> <p>私自身は観光機構は市の委託事業ではないと思っている。確かに市と協調してやるのは大事だが、街も一緒になっていかに地域を良くしていくかを考えている。</p>
委員	<p>観光機構は多くの人に訪れていただくことによって財布の紐が緩んでお店にお金が落ちるよう、イベントやPRを行っている。目標は数値的にいえばどのくらいの方が街にお金を落としたとか、イベントにどれくらいの方が参加したとか、それが時間軸でどのくらいくればどのくらいの目標が達成するかということを検証している。観光機構としてやっているイベントの中で1万人近い参加者を集めているイベントもある。また我々が自主的に財源を稼いで実施している事業もあり、まだ割合としては2～3割だが、自主財源でイベントやPR活動を行っている。</p>
委員	<p>資料5の観光振興に関わる組織に三鷹北口の組織が入っていないが、武蔵野市中央地区商店連合会がある。三鷹地区には井の頭通り沿いにブルーベリーの農場があり、独特のやり方で高品質のブルーベリーを栽培している。我々が行くといろいろと説明して案内して頂くと、近くでとれる農産物を販売もしている。まだ卵の段階だが、観光の形を作ってやれば三鷹地区の観光資源となる。是非三鷹も含めていただきたい。</p>
委員	<p>昔は吉祥寺より奥の人たちが小さな都会を求めて吉祥寺を訪れることが多かったが、最近では都心のマンションに住む人が、郊外で農業的な経験を求める傾向があるので、農業も観光資源として必要だと思う。</p>
委員長	<p>武蔵境にも果樹園のもぎとり販売がある時は朝から長蛇の列ができています。ただそういう都市農業が貴重な財産ではあるが、生産緑地制度によって守られてきたものが2022年で期限切れになったらどうなっていくのか危惧されているところだ。そのあたり都市の活性化という内容で盛り込んでいければいいと思う。</p>
委員	<p>あと三鷹駅北口には芸能劇場と市民文化会館があるので、それらのイベントを利用して帰りに買い物や食事をしてもらうように誘導できればいいと思う。</p>
委員	<p>武蔵境にも果樹園があるが、以前は観光農園として非常に良かった。最近はお客さんが固定化の傾向にあり観光化は難しくなっている。ただ、亜細亜大の目の前にブルーベリー農園があるし、武蔵境駅から歩いて5～6分のところにも野菜塾境村という農園がある。ヨーロッパでは小麦畑や牧場の景色がよく観光化している。武蔵境にも緑があり、「ののわの道」にはひまわりを植えていただいたのでそこをヒマワリロードという形で演出もできる。視点を変え、我々が資源として発見していくことが必要だ。駅から5～6分のところに農園があるということは他にはない。こういう景観があるというありのままの姿を見せていくというのがこれからの観光だと思う。</p> <p>武蔵野市で来街者がどのくらい来ているのか数値を把握しているのか。私どもの観光ボランティアガイドでは、3年間で約1200名のお客さんをガイドした。その約8割の方が市内の方だ。残りの2割前後が市外からきている。産業観光ということを考えれば市外からの来街者を増やさなければいけない。来街者を増やすためには数値化し、どういう方法でお客さんに来てもらい、その効果はどうだったかを検証した方がいい。観光ボランティアガイドでは何人来</p>

	てそれに対しどのくらいの費用が掛かっているかもわかります。話はそれますが、ガイドのほうにももう少し予算をとっていただければと思う。
委員	資料5にある目標はぼんやりしすぎていると思う。やはり目標は地域の活性化、地域経済の振興、市民生活の質の向上というのが目標であるべきであって、ここにある目標は手段ではないかと思う。
委員	観光推進なので、観光の指標として象徴的なものをあげたほうがいい。これはまちづくりではなく、あくまでも観光という観点からある目標を達成しようということなので、来街者年間何万人ということも入れてもいいと思う。それがサブ目標でもかまわない。
委員長	目標に関しては入込客を増やして経済活性化ということが当然大きな柱としてあると思う。
委員	アクションプランが進むに連れて、当初の目標の地域経済の活性ということをおぼろげに忘れてしまって予算の消化のようになってしまっている。あくまでも個別に予算を出すにしても、地域経済の活性化につながっているかを一つ一つ考えられるように、改めて目標として地域経済の活性化などをきちんと掲げたほうがいいのではないか。
委員長	もちろんそれも1つの柱ではあるが、市民にとって外から武蔵野市に対するまなざしが市民力をアップしていく。先ほど武蔵野市への愛着が薄らいでいるという話もあったが、それも1つの目標の柱としてあっていいと思う。
委員	私は10年前の第一期の観光推進計画に関わったが、当時の市役所内部や議会での議論では武蔵野市で観光というのが結びついていない時代だった。武蔵野市は熱海や箱根ではないということがずっといわれており、都市観光という形でご説明し、地域の活性化、地域経済の振興、市民の生活の質の向上ということをおぼろげに観光推進の意義として打ち出すことで武蔵野市の都市観光を認めて頂いた経緯がある。今回の資料5にはその意義は掲載されていなかったが、当然それがベースとなっている。この目標についても都市観光を進めるにあたってどういった観点で進めたらいいのかを考え、ぼんやりとして緩やか目標だということはおぼろげに分かっているが、当時はこれで決まった。今は10年前とは状況が変わっていて、これをもう少し見直したほうがいいというのであれば変えてもいいが、市長も冒頭挨拶で申し上げたとおり、都市観光であり、テーマパークではない。市民の普段の生活を磨き上げてそれを見せる、それを市民の方も自覚して再発見してもらおうということが大事だ。そういう視点を考えながらこの目標も考えざるを得ないのではないか。
委員	市民の交流も大切だと思うが、それは別のところで考えて、観光推進というのは経済の中の一つとして考えた方がいいのではないか。
委員	地面の上に立派な建物を建てる時、地盤が緩いとか雨が降ると水が溜まるようなことがあると、ネガティブな方向に進む。地盤を固める意味で市民の暮らしのレベルアップをはかることは目標と考えていいと思う。一方、積極的にポジティブな方向で手を打つことも社会環境の変化に対応するという意味が必要だ。その両面で目標設定をするとよい。およそ自分たちが気持ちよく暮らせない街に人が集まるということはいえない。市民がいきいきと暮らしているところに人が集まって来る。いくつかの視点から見て観光推進の目標設定できればいいと思う。この3つを基盤に考えていいかと思う。
委員	観光推進ということであれば、プロモーションが全然たりていない。吉祥寺という駅や街はある程度ブランド力はあって、東日本の人は知っているかもしれ

	<p>ないが来たことがある人は少ないと思う。以前赤坂の従業員が 200 人程いるホテルに勤めていたが、たぶん3分の2は吉祥寺に来たことがない。北海道や九州に行っても吉祥寺については聞いたことはあるが、武蔵野市は知らない人が多い。海外に行くとなおさらだ。我々が思っている以上に外の人に知られていない。新しい観光を生むということも大切だが、吉祥寺にはカフェがたくさんあるとか、井の頭公園があるといった既存のもので街の魅力を情報発信できる。観光機構でもWEB上でPRしているが、発信しているだけだ。先日韓国の博覧会で東京観光財団が大きなブースを出していたが、武蔵野市のことは一言も書いていなかった。もちろんWEBでの発信も大事だが、なぜ外にアピールをしないのか。国内外の旅行代理店にプレゼンをしに行くが、20 分間のうちホテルの説明は5分だけで、あとの 15 分は武蔵野市の街、吉祥寺はどういうところか、どうやってくるのかという時間にあてる。予算の関係はあると思うが、今出来ることをすぐやれば、すぐお客さんが増えるかもしれない。ただ費用対効果と言われると難しい部分はある。経済効果が上がるかということは各商店街の努力で、受け入れる土壌を作っていただければ売り上げはあがると思う。すぐにでもPR活動を開始していただきたい。</p>
委員	<p>PRの話で、武蔵境には亜細亜大や日本獣医生命科学大など複数の大学があり、多くの学生が武蔵境駅を利用している。学生には外国人もいる。学生に向けてPRしてもらおうといい。活性化委員会で「いいさかい」という本を作っているが、それだけではなく、武蔵境にはこんな場所があるということだけでもネット発信していただきたい。それほど費用はかからない。</p>
委員	<p>素晴らしい意見がでていますが、今でた事例は全部観光機構としては把握している。PRが足りない事実も承知している。インバウンドがこれだけ言われ始めたのは昨年からだ。武蔵野市でも国家予算を使ってWEBサイトを作ったのは今年の3月末でマップも6月末に完成したという状況だ。</p> <p>PRすることは大事だと思うが、その前にやらなければならないのは観光資源の整備だ。これが整っていないと来てももらっても楽しめない。どういう資源があるかということを整備した上で同時にPRするというのが理想だ。日常生活の中にある資源が都市観光である。日常的に楽しめる観光資源、カフェで日本の方と外国人の方が交流するということも観光資源だ。資源は無量大にあるが、それが可視化されていない状況だ。それを観光機構や様々な組織団体が中心となって整備して海外に向けてPRしていく。国内でいえば、武蔵野市の周辺の人口が 180 万人いるが、まだエリアマーケティングされていない。観光資源が整っていない中でPRだけ先行するのはどうかと思う。吉祥寺は都市観光としても人気のある場所なので、どんどんPRしてもいいが、他のエリアはもう少し整備をしていかないと呼び込めないのではないかな。</p>
委員	<p>吉祥寺まち案内所では毎月来る人の数は把握している。最近人数は一定しているが、外国人が増え、毎月 500 人前後來ている。台湾の方が多く、観光機構で発行した簡体文字の中国語マップではなく、繁体文字のマップがほしいといわれる。最近こちらで繁体文字の周辺マップを作ったが、外国人がきたら速やかに対応することが必要だ。去年の時点で中国人の方はかなり来ていたが未だに商店街ごとに作っているマップには英語も中国語もない。ただ皆さんネットで検索されていて、スラムダンクの舞台になっている武蔵野北高の前に中国人が訪れているらしい。そういう資源が点在しているので活用してほしい。既存のものでもアンテナを貼って発信していくとよい。三鷹や武蔵境地域は観光とし</p>

	ては弱いですが、いいところはたくさんあるので、PRは大事だと思う。
委員	整備というのは、きちり形を作っという観光資源がとありますよという 意味で言っているのではない。スラムダンクは著作権も絡んでくるので、SNS で流している。その効果は検証していなければならないが、観光客が来ている ことは把握している。来ているのは台湾の方だと思う。
委員	今、アニメの資源が点になっているので、面として視野を広げるといい。街の 案内所にて吉祥寺でどこか見るところはありますかと聞かれると、街をぶら ぶらしてくださいという言い方をすることが多い。その街で特徴もでてくる と思うので、広い目で見てもいいと思う。
委員	三鷹駅の北口にドラマや映画で使われているところがある。撮影された所を聖 地として回る人もいるので、もう少しフィルムコミッションのWEBサイトで 案内し、その周辺でも食事や買い物をしてお金を落としてもらえるようになれ ばいい。
委員	実際WEBサイトで二次利用の許可をもらっているものは掲載している。一部 観光機構のWEBサイトで情報は掲載している。
委員	非常に少ないと思う。ロケ地として提供するときに、そのタイトルとどこで撮 ったかがわかる情報をWEBサイトに載せるということは交換条件にしてもい いのではないか。
委員	参考にさせていただく。
委員長	成蹊学園でも撮影されているがなかなか学園の広報には使いづらいものだ。
委員	フィルムコミッションの内容的に、皆さんが期待しているようなものは来てい ない。そういう作品はない。
委員	フィルムコミッションが把握していないだけではないか？市民として伝え聞く だけでも、有名な作品がたくさんある。西久保コミセンの元委員長に聞いた が、西久保コミセンだけでも、有名なドラマでマニアの多い「相棒」のロケ や、ジャニーズの人気グループのメンバー主演の刑事ドラマのロケ、また宝塚 出身の有名女優のドラマのロケがあって、放映されている。また、「相棒」の 主役の友達が住む所の設定で、中道商店街出口のツタの絡まるマンションも、 ドラマの中で重要な役割を果たしている。それだけでも、上手く情報を発信で きれば、流行りの「聖地巡り」として、立派な観光資源にすることはできるの ではないか。
委員	それは残念ながら観光機構を通していないので、情報は入っていない。直接施 設にいっていると思う。
委員	私は鉄道利用促進の宣伝の仕事をしていたので、PRは大事だということは分 かっているが、どこまでやればいいのかということと、こちらの思惑とは違っ て全然伝わらないということが多く、苦労していた。ものごとが伝わりやすい のは地元の人が語ることだと思う。4月に武蔵境に来てプレミアムというもの があるというのを地元の人から聞き、こんないいものがあったのかと初めて知 った。大学生に語り部になってもらって広めるということもいい。人から人に 伝わるのが実は一番強く、SNSもそこを狙っている。まず観光資源を整備し て、SNSや学生さん達の人づてで伝えていくことで、効果的に来街者増につ ながるのではないか。
委員	私は吉祥寺の街をもっとクリーンにした方がいいと常々思っている。吉祥寺に はダーティなところがまだあって、そういうところが嫌だという来訪者の声を よく聞く。そういうネガティブのところを、私の世代が力添えできればいいと

	思う。
委員長	清掃のボランティアもいらっしゃるが、植栽をすればきれいになるかと思えば逆で、そこにゴミを捨てられるというジレンマもあるようだ。
委員	<p>本日意見交換ということで、皆様から貴重な意見を拝聴させていただいたが、第一期の観光推進計画の意義が目的になるべきだと思う。目的、目標があつて具体的なアクションプランがあるという、マクロな部分をきっちり論理的に議論する場と、すぐに改善すべきところも含めて皆様からの貴重ないろいろな事例を議論する場の2段方式で会議を進めた方が効果的ではないかと思う。</p> <p>また今日何度も「都市観光」ということを言われているが、この資料5では第二期武蔵野市刊行推進計画の位置づけのところに1箇所載っている以外どこにも載っていない。マクロの部分を考えなければならない。目的が抜けて目標から来ていることもあわせて、もう少し論理的に考えられたほうがいい。前回観光推進の目的とせずに意義とされたのが、何か理由があつたのだと思うが、時代が変わつたので、目的という方がよければ目的でもいいのかと思う。そして今日の皆様のご意見はものすごく貴重だと思うので、それを全部盛り込めるよう観光推進計画は2段方式でもいいかと思う。</p>
委員長	ちょうど時間になった。まだまだご意見は出つくしていないと思うが、今日はこのあたりにさせて頂きたい。

(5) その他

- ・ 次回の会議日程は8月17日(水)18時からとする。場所は会場が決まり次第連絡する。

6 閉会

以上